

令和 7 年 駒ヶ根市教育委員会 第 8 回定例会 次第

令和 7 年 6 月 2 4 日 (火) 午後 2 時
駒ヶ根市役所 南庁舎 2 階 大会議室

1 開 会

2 教育長報告 P1

3 事業報告及び事業計画 P5

- ・ 定例教育委員会 7 月 31 日 (木) 午後 2 時 3 0 分 保健センター 2 階 大会議室
- ・ 総合教育会議 7 月 31 日 (木) 午後 4 時 保健センター 2 階 大会議室

4 審議案件 P7

議案第 1 号 駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について

5 協議事項 別紙

協議第 1 号 第 3 次駒ヶ根市教育振興基本計画について

6 報告事項

- (1) 保育料の収納状況について P8
- (2) 学校給食費収納状況について P9
- (3) 行事共催等承認申請の専決処分について P10

7 その他

- (1) 中間教室の移転について P11
- (2) 市教職員夏期研修会について P12
- (3) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会について P14
7 月 2 日 (水) 13 時 00 分～ 箕輪町

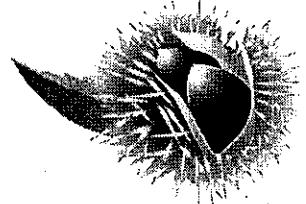
8 閉 会

令和7年度 第3回駒ヶ根市定例教育委員会 6月24日(火)

『世の人の 見付けぬ花や 軒の栗』 松尾芭蕉

季語：軒の栗（夏）

意味：世の人はこんな軒先にまさか栗の花が咲いているなんて見つけないだろう。



♥ ひっそりと咲いている栗の花。栗の花は薄い黄色をしています。そのため、咲いていることにさえ気付かない人も多い（けっこう匂いで分かるが…）。そんな栗の花に自分は気づいたと得意げな感じが感じられます。

教師が子どもたちの思いも寄らぬ「素敵な面」を発見できたら、それこそ大得意になるというもの。そんな教師と子どもの関係性が今こそ臨まれます。

◆先達の教え1 『いじめと不登校』河合隼雄 ～教育に何ができるか～より

- 見守るというのは、親の方が育っていかないといけない。見守っていると子どもに教えられる。見守っているとこっちは成長して行かざるを得ない。
- いじめ問題。原因を追及するなというのではなくて、簡単に原因を決めつける人が多すぎるので、それはやめなさいといこと。一般にはどうしても単純な悪者探しになってしまう。あるいは、極端な悪者をつくって安心する人が多い。
- 悪を排除することによって善になるというのは、すごく単純な考え方で、絶対にそんなにはうまくいかない。
- 70年代後半から子どもたちが、目立つことを極力回避し始めた。
- 何も昔の先生とか親が偉かったわけではない。今と同じように考えていたんだけどもできなかっただけ。今は、少子化の上にお金があるから、子どもを監視しやすい。子どものことを見えたり分かったりしながら、あえて見守るということ、これがいまの親や教師にとって大事だが、今は、見守り時間がすごく短くなっている。
- 教員にはあまり普通の子の顔が見えていないんじゃないか。教師として一つの陥りやすい欠点だ。40人いたら、30人ぐらいわかっていて、後の10人は分かっていない。10人の方は、静かなやつと騒ぐやつがいて、一人一人見えてきて、30人の方は、固まりにしか見えない。
- 見守るというのは責任を育てるいちばんいい方法だ。あなたに責任があると思っっているから見守っているのだ。自分に責任があると思う人ほど口を出す。大きく教師はそう。勝手に自分で責任を引き受けてしまう。相手も責任を持っているんだと考えて見守っているうちに、その人が責任体験をしていき、成長していく。そういう体験が少ない人ほど、イノセンス（無力）の解体（＝大人になる＝自立する）が起きにくい。だれかがやってくれるとずっと思っているわけで、しまいにはやってくれないやつが悪いんだというふうになってくる。
- 「見守る」こと。できたときに、「うん、それや」と要ったり、「やったなあ」と声を掛ける。それは必要。「うん、それ、それ。それを覚えておけよ」と。要所で言えないといかん。見ていなかったら言えない。
- 責任を持って教師も親も見守るんだということ。それはノウハウではなくて、自分の人間性を全部そこにぶつけて、死ぬか生きるかということをそこでやるしかないんだということやっていけばいいと考える。



♥ 「見守るというのは責任を育てるいちばんいい方法」これは、教える側に立つ者に対する的を射た言葉です。見守るという行為は、心に余裕がないとできません。ゆとり

といってもいいです。こんな時代だからこそ「あえて見守る」ことが必要なのですね。しかも今の時代は待つ時間が短くなってきているといいます。すぐに答えを求められるからです。早く早くと子どもたちを焦らせている現実があります。見守れない者は、本当の意味で「認める」、「褒める」こともできないのではないのでしょうか。ましてや、見守ることは責任を育てるチャンスなのに、教師の性で自ら放棄している現実があります。児童生徒が見えていない証左ですね。今から、ここから「見守る」ことに徹してみることをしなければなりませんね。

◆先達の教え 2 目の前の一人を取り残さない 新井陽子（横浜みなとみらいホール館長）

- 「だれでもピアノ」は「誰一人取り残さない」という思いを込めて名付けた。無人で音を奏でる自動伴奏を開発したヤマハの協力を得て、完成。障害者の方に真に寄り添ったピアノをつくることができた。
- 驚いたのは、その場に居合わせた障害のある彼女たちの言葉「人間じゃないからいいね」の言葉。私たち目線で考えれば、人間が伴奏してくれる方がいいと思う。でも、親や先生、何をするにも人の介助なしには生活できない彼女たちにとって、人の手を借りるといことがどれほど心の負担となっていたことを思い知らされた。
- 忘れられない脳科学者の先生の言葉「一人を救えない者は誰も救えない」
- 「だれでもピアノ」は、脳性麻痺の少女に何とか一人で演奏してもらいたいという私の一念から生まれた。今では多くの方が楽しめる道具となっている。
- すべては目の前の一人に向き合うことから始まる。
- だれもが楽しめるものをつくることにとらわれすぎると、結果として誰も楽しめないものになってしまう。まずは目の前の一人を取り残さないこと。

♥「人間じゃないからいいね」という障害者の同僚（学生）が発した言葉は、虚を突かれた感があります。何だかんだといっても常識にとらわれて、人間の伴奏の方がいいに決まっていると思うのは、健常者の驕りです。障害者はそんなことは思っていないのです。人間にどれだけ申し訳ないという気持ちを持って生きてきた（いる）のでしょうか。ハッとさせられます。「一人を救えない者は誰も救えない」という脳科学者の言葉は当たっています。まずは目の前の一人を救いたいものです。

《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料

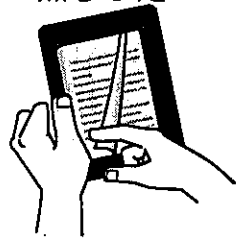
- 5/22の朝。登校途中の1, 2年生の女児4人と出くわしました。何かを拾って足で踏みつけています。そのうちの一人（2度ほど逢った女児）が「これ梅干しだよ」と私に話しかけてきました。「ああ、梅干しはそれを干したやつだから、梅だよ」と言うと黙ってしまいました。別の子が「どうやったらつぶせるの？」と踏みつけたまま聞いてきたので、「みんなで考えてごらん」と言うと、この子も黙ってしまいました。私はとぼけて上を見て、「ここにいっぱい実がなってるねえ」と言いましたが「反応はありませんでした。そのとき保護者らしき女性が来ました。子どもたちの関心は、みなそちらに向けられました。」

♥1, 2分の出来事でした。実のなる木（梅）が学校の敷地内にあることは素晴らしいことです。子どもたちの表情も違いますね。生き生きとしています。この子たちの教室での表情を見てみたいものです。

今回、子どもたちの反応をみて、感じたことがあります。子ども等は、自分の思ったり感じたりしたら、身近にいる大人に何でも聞いてきます。なにも、正しい答えを期待しているのではなく（中にはそういう子もいる）、伝えて相手の反応を確かめているのではないかな。話ができれば、自分の思いが伝われば、それでいいのかもしれない。真面目に聞くのもいいが、ときどき単なる聞き役になってやることも大事なのかなと思った瞬間でした。

AI時代に負けない生きる力を育む子育て 内田伸子 VS 川島隆太

- 最近の話。近所の公園を通りかかったときに、1歳くらいの赤ちゃんをバギーに乗せたお母さんがいた。スマホの操作に夢中になっている。赤ちゃんはバギーに設置されたiPadでYouTubeの動画か何かをじーと見ている。母子がそれぞれ閉じたデジタル空間にいて、甲斐和や関わりは一切ない。初春の日差しいっぱいの子供のよい天気だったが母子の周りにだけ氷のような無機質な空気が漂っていて、異様な光景だった。用事を済ませて40分後に同じ公園を通ったら、まだ同じ状況だった。
- GIGAスクール構想が問題なのは、そもそも何のためにデジタルを教育に入れるのか、子どもたちにどのようなベネフィット（利益、恩恵）があるのか、明確な目的や検証がないままにスタートし、進められてきたことだ。私たち研究者は、文献などを調査して仮説を立て、事前にエビデンスをとり、倫理面も考慮しながら、目的に照らした有効性が確認できてようやく研究成果を世の中に広げていく。
- デジタル端末を家に持ち帰って勉強する時間が長い子どもほど成績が下がっている。端末で何時間も真面目に勉強している子どもたちの平均偏差値は、家で殆ど勉強しない子どもたちのそれよりも低かった。
- デジタル教育の先進国だと言われた北欧では、神の教科書の使用やノートへの記入などのアナログ教育に戻り始めている。
- デジタル端末がなぜ学力を低下させるかという点、本を読んだり調べたりする機会が少なくなって、自分で行間を読む力、自分の頭で深く考える力が身につかないからだ。デジタル端末に頼ることで、何でも深く考えずに手っ取り早く答えを見つけようとする姿勢が養われてしまう。
- だれが一番得をしているかというと、アメリカのGAFAMを中心とした巨大企業。
- 若くして脳の老化が始まっている。スマホに触れる時間が長い学生は、自尊心、自己肯定感や共感性が低かったり、感情の抑制ができなかったり、神経症状が出ていることも分かった。
- アメリカペンシルベニア州で2007年、小児医学雑誌に発表された大規模調査の結果。1800名の健康な赤ちゃんを6年間追跡調査した結果、約300名に言語の認知機能に明らかな遅れが見られた。調べると、その子どもたちは生後6ヶ月以降、1歳まで早期教育のビデオ教材を一日1時間以上、見せられていた。言語を理解する脳のウェルニッケ野のネットワークがつくられていなかった。幼児期に映像を見っぱなしにしていたことで、特別なサポートが必要な子にさせられてしまったわけだ。
- デジタル端末を長時間利用している人は、集中力が短くなるというデータもある。例えば、ある大手IT企業は、社内調査でデジタル端末、SNSを利用している人の2割が集中力を10秒しか持続できなくなっていると発表。SNSなどに中毒性がある証左。
- インターネット上で触れた真偽不明な情報を信じ込み、それ以外の意見を受け入れることができなくなっている人が増えている。これもスマホやタブレットの過剰な利用により、考える力を失ったデジタル脳によって引き起こされているのではないか。
- 『共有型しつけ』…両親が子どもと密なコミュニケーションを取っている。子どもの興味関心に基づく自発的な遊びの時間を大事にし、「洗練コード」と呼ばれる三つのH（褒める・励ます・視野を広げる）を意識した言葉掛けをしている。要するに、他の子どもと比べるのではなく、その子の過去と比較して成長を褒めてあげる、勉強する意義を伝えて視野を広く持たせてあげるなど、親自身が子どもとの楽しい経験を共有したいと思うて行うこと。
- 『強制型しつけ』…その逆が「制御コード」の言葉掛けをするもの。「〇〇してはだめ」等の禁止や命令をする。強制型しつけを受けている子どもは、家の中でも常に叱られ



ないよう親の顔色を窺いながら緊張した状態で過ごすようになって、自分で主体的に考え、行動することをしなくなる。

○2012年頃、家庭の経済格差が子どもたちの学力の影響するとしきりに言われたが、調査によって、所得の多寡よりも、親子のコミュニケーションの程度やしつけの違いが子どもの学力に大きな影響を与えていることが明らかになった。

○いま人の気持ちが理解できない、集団生活ができない子が増えていて、小学校低学年でも学級崩壊が起こっている。その根っこはどこにあるのか。やはり、スマホ依存の問題がったりして、家庭内の親子の触れ合い、愛着関係がきちんとできていない現実が見えてきた。そのような家庭に対して三つの介入実験を行ってきた。一つ：とにかく何分でもいいから寝る前に本の読み聞かせをしてもらう。二つ：親子で週1回、お菓子作り、ホットケーキを作ってもらう。三つ：脳科学の知見に基づき考案した脳トレーニングを、家庭内で親子で楽しんでもらう。いずれの取り組みにおいても、子どもたちの認知力が向上しただけでなく、問題行動もグッと減って、親の子育てストレスが下がるというデータが見事に得られた。

○共有型しつけの家庭は、具体的にどんな子育てをしていたか。

「思いっきり遊ばせること」「遊びの時間を子どもと過ごすこと」

「子どもの趣味や好きなことに集中して取り組ませること」の三つだった。

○子どもたちのにとって、遊びはアクティブラーニング（脳働学習）

人間は能動的に物事に取り組むことで大脳の前頭連合野のブローカ野（発語のプログラミング）、大脳辺縁系の扁桃体（感情の中核）、海馬（記憶の中核）が活性化される。

○AIには容易に代替できないもの＝人間が社会の中で生きていく上で不可欠な能力

① 他者と付き合う能力＝社会性・社交性

② 感情をコントロールする能力＝自制心

③ 目標を達成する能力＝実行力・挑戦力

○AIからは、既存のパターンから飛躍した思考や発想は生まれない。AI時代の今だからこそ、できる限りお子さんと遊んで非認知能力を育ててあげてほしい。

○「外遊び」を増やすことで、遠くの景色や手元の動きを見比べる「視力」、体を使うことによる「運動調整能力」、四季折々の自然など、肌で実感したことを言葉に表現する「言葉の力」を培うことができる。

○非認知能力を手軽にかつ確実に伸ばす方法がまさに活字に触れる「読書」である。

○読書週間のある子は、国語だけでなく、数学や理科などの成績もいい。

○いま一度読書の意義を認識し、家庭でも学校でも活字中心の教育を取り戻していくことが必要だ。

○「クシュラの奇跡」クシュラは重度の先天性障害を持っていた。

重度障害にも拘わらず、言語・認知の面で水準以上の成長ができたのは、親に絶えず抱かれたり、話しかけられたりする環境の中で、「言葉と絵の宝庫」である絵本の力に触れたからである。

○赤ちゃんの幸せは『お母さんの幸せ』にかかっている。子どもは、『この声とこの鼓動が聞こえていれば大丈夫』と安心する。

○スマホばかりいじって脳を使わないのは、本当にもったいない。

○本に触れる環境をいかにつくるかが、とても大事。本が新しい、豊かな世界をもたらしてくれる。

○これからの日本は、能動的な読書や外遊びを通じて非認知能力をどんどん高めていく人たちと、スマホやタブレットなどデジタルの世界にどっぷり依存し、物事を深く考えて行動する力を失っていく人たちに分かれていくように思う（川島）。

○デジタル化の波に屈しないようにしたい。



6月分 教育委員会事務事業計画

2025年6月19日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	日		明治大学 登戸研究所資料館現地視察[民俗資料館]～2日	社会教育課
2	月	10:00	6月議会開会[議場]	教育長、次長
		15:30	市内公民館連絡協議会[赤穂公民館]	社会教育課
		18:30	赤穂学校給食運営委員会[南庁舎大会議室]	子ども課
3	火	9:30	市内校長会[東小学校]	教育長、次長、両課長
		10:00	文化財団館長会[文化センター]	社会教育課
		13:30	市内園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
		14:00	学校用務員連絡会議[保健センター大会議室]	教育長、子ども課
		18:00	休日部活動地域展開協議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
4	水			
5	木			
6	金		一般質問検討会	
7	土	14:00	上伊那スポーツ推進委員会連絡協議会総会[泰成スポーツフロア]	教育長、社会教育課
8	日	12:00	郷土芸能まつり[文化会館大ホール]	教育長、次長、社会教育課
9	月		一般質問検討会	教育長
10	火	19:00	二十歳を祝う会実行委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、社会教育課
11	水			
12	木			
13	金	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
14	土			
15	日	9:00	十二天の森初夏観察会[十二天の森]	教育長、次長、社会教育課
16	月	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
17	火	15:00	図書館協議会[図書館]	教育長、次長、社会教育課
18	水	9:00	市議会常任委員会[第5会議室]	次長、両課長
19	木	9:00	庁議[大会議室]	教育長、次長
		18:30	市内PTA協議会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
20	金			
21	土			
22	日			
23	月	10:00	市議会(最終日)[議場]	教育長、次長
		13:30	上伊那地区部活動地域展開情報交換会議[伊那合庁]	社会教育課
24	火	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		14:00	定例教育委員会[保健センター]	教育長、次長、両課長
		18:30	市民総体実行委員会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
25	水	17:00	職員労働組合保育所部会所属長懇談[]	次長、子ども課
		15:00	社会教育委員会[]	社会教育課
26	木	10:00	お粥ポット贈呈式[市長応接室]	市長、子ども課
		15:30	不登校児童生徒支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
27	金			
28	土	9:00	南信地区スポーツ少年団地区交流大会[泰成スポーツフロア]	社会教育課
		10:00	ハッチョウトンボ観察会[南割公園]	社会教育課
29	日	10:00	ハッチョウトンボ観察会[南割公園]	社会教育課
30	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	
		10:00	子育て全力応援プロジェクト全体会議[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課、社会教育課
		13:30	部課長会[市役所大会議室]	

7月分 教育委員会事務事業計画

2025年6月19日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	火	10:00	市制施行記念式典	教育長、次長、両課長
		13:30	市内公民館連絡協議会[赤穂公民館]	社会教育課
2	水	9:30	市内校長会[南小]	教育長、次長、両課長
		13:30	上伊那市町村教委連絡会研修会・総会[箕輪町]	教育長、教育委員、次長
3	木	13:30	市内園長会[保健センター]	子ども課
		18:30	駒ヶ根市人権教育推進協議会[赤穂公民館]	教育長、次長、両課長
4	金	14:00	アンサンブル信州in宮田鑑賞教室(小5.6年)[文化センター]	社会教育課
5	土			
6	日			
7	月	9:00	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
		11:00	県保育園幼稚園連盟あいさつ[市長応接室]	市長、教育長、次長、子ども課
		13:30	南部市町村教育委員会連絡協議会代議員会[宮田村]	教育長、次長
		15:00	就園就学支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課長
8	火	10:00	文化財団館長会[文化センター]	社会教育課
		PM	初任研市町村教委主催研修[いなっせ]	教育長
		13:30	駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム運営委員会[南庁舎大会議室]	両課長
9	水			
10	木	9:15	決算審査[市役所第5会議室]	次長、両課
		19:00	市民総合体育大会監督会議・抽選会[保健センター大会議室等]	次長、社会教育課
11	金	13:00	伊南公民館連絡協議会総会・研修会[ふるさとの丘]	社会教育課
		15:00	職員採用試験一次選考会[市長応接室]	教育長
12	土	10:00	戦後80年記念事業 公民館平和講座[赤穂公民館]	教育長、次長、社会教育課
13	日	9:15	チャレンジホッケー!!2025[ふるさとの丘]	社会教育課
			市民総合体育大会(一部競技)	社会教育課
14	月	9:00	庁議[大会議室]	教育長、次長
		10:00	県都市教育長会議[上田市]	教育長、子ども課長
15	火	18:30	全国大会出場選手激励会(高校総体)[]	教育長、次長、社会教育課
16	水			
17	木	17:30	伊那新校懇話会(WEB)[教育長室]	教育長
18	金			
19	土			
20	日		参議院選挙投票日	
21	月			
22	火	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
23	水			
24	木			
25	金			
26	土		KOMA夏!!	
27	日		市民総合体育大会[市内各会場]	教育長、次長、社会教育課
28	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		13:30	部課長会[市役所大会議室]	教育長、次長、両課長
29	火	13:15	19市保育所主管課長会議(オンライン)	子ども課
			赤穂公民館夏休みこども講座[赤穂公民館]~8月5日まで	赤穂公民館
30	水	10:00	要保護児童等支援ネットワーク会議、いじめ問題対策連絡協議会[本庁大会議室]	教育長、次長、子ども課長
			日本体育大学交流事業[東京]~8月1日まで	社会教育課
31	木	14:30	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長
		16:00	総合教育会議[保健センター大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長

駒ヶ根市社会教育委員の委嘱について

社会教育法第 15 条第 2 項及び駒ヶ根市社会教育委員条例（昭和 59 年条例第 5 号）第 1 条並びに第 4 条の規定により、下記の者を駒ヶ根市社会教育委員に委嘱する。

令和 7 年 6 月 24 日

駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏名等

氏 名	住 所	備 考
原 文子		学識経験者

2 委嘱年月日 令和 7 年 6 月 25 日

3 任 期 令和 7 年 6 月 25 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
(前任者の残任期間)

令和6年度 5 月分保育料徴収実績表

駒ヶ根市教育委員会 子ども課

令和 7 年 5 月 31 日 現在

(単位：円)

区分	項 目	調 定 額		収 入 額 等			徴 収 率		前年度調定額 前年度同期	前年同期 前年同期 (D)	比較 (C/D %)	予算執行率 (C/A %)
		当月	累計 (B)	当月収入額	累計収入額 (C)	不納欠損額	収入未済額	現年分 (C/B %)				
保 育 園	保育所運営費 負担金(公立分)	0	29,244,820	-7,190	29,111,120		133,700	99.54%	40,080,390	39,704,080	73.32%	89.73%
	保育所運営費 負担金(私立分)	0	12,329,710	5,200	12,319,310		10,400	99.92%	11,223,080	10,978,530	112.21%	199.34%
	長時間保育料	0	2,282,350	29,700	2,234,850		47,500	97.92%	2,083,250	2,036,100	109.76%	93.27%
	保育所運営費 負担金他市町村分	0	0	0	0		0	—		0	—	0.00%
	現年度分 小計	0	43,856,880	27,710	43,665,280		191,600	99.56%	53,386,720	52,718,710	82.83%	102.07%
幼 稚 園	過年度分 (滞納繰越分)	0	816,290	0	162,550		653,740	19.91%	593,830	41,200	394.54%	129.01%
	保育園分 小計	0	44,673,170	27,710	43,827,830	0	845,340	98.11%	53,980,550	52,759,910	83.07%	102.15%
	副食費現年度分	0	1,053,600	0	1,053,600		0	100.00%	1,350,000	1,350,000	78.04%	65.04%
	長時間保育料	0	52,450	0	51,850		600	98.86%	132,900	127,300	40.73%	34.11%
	過年度分 (滞納繰越分)	0	602,509	0	0		602,509	0.00%	599,409	0		0.00%
幼 小	幼稚園分 小計	0	1,708,559	0	1,105,450	0	603,109	64.70%	2,082,309	1,477,300	74.83%	59.53%
	現年度分 小計	0	44,962,930	27,710	44,770,730		192,200	99.57%	54,869,620	54,196,010	82.61%	100.49%
	過年度分 (滞納繰越分) 計	0	1,418,799	0	162,550		1,256,249	11.46%	1,193,239	41,200	394.54%	77.04%
	合計	0	46,381,729	27,710	44,933,280	0	1,448,449	96.88%	56,062,859	54,237,210	82.85%	100.38%

令和6年度 学校給食費収納状況

令和7年3月31日 締め

○赤穂学校給食委員会

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	R5年度	124,276,598	124,276,598	0	0	100.00%	0
	R6年度	119,097,993	119,097,993	0	0	100.00%	0
	前年対比	-5,178,605	-5,178,605	0	0	0.00	0

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	R5年度	3,808,219	60,085	0	3,748,134	1.58%	15
	R6年度	3,748,134	48,512	212,579	3,487,043	1.29%	13
	前年対比	-60,085	-11,573	212,579	-261,091	-0.29	-2

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R5年度	128,084,817	124,336,683	0	3,748,134	97.07%	15
	R6年度	122,846,127	119,146,505	212,579	3,487,043	96.99%	13
	前年対比	-5,238,690	-5,190,178	212,579	-261,091	-0.08	-2

○竜東学校給食委員会

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	R5年度	25,080,061	25,080,061	0	0	100.00%	0
	R6年度	24,460,551	24,460,551	0	0	100.00%	0
	前年対比	-619,510	-619,510	0	0	0.00	0

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	R5年度	213,976	37,523	0	176,453	17.54%	1
	R6年度	176,453	15,000	0	161,453	8.50%	1
	前年対比	-37,523	-22,523	0	-15,000	-9.04	0

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R5年度	25,294,037	25,117,584	0	176,453	99.30%	1
	R6年度	24,637,004	24,475,551	0	161,453	99.34%	1
	前年対比	-657,033	-642,033	0	-15,000	0.04	0

○両センター合計

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	R5年度	153,378,854	149,454,267	0	3,924,587	97.44%	16
	R6年度	147,483,131	143,622,056	212,579	3,648,496	97.38%	14
	前年対比	-5,895,723	-5,832,211	212,579	-276,091	-0.06	-2

報告(3)

R7-6 定例教育委員会報告

行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認	備考
後援	7-034	第49回赤穂高等学校定期演奏会	長野県赤穂高等学校	令和7年7月20日(日)	駒ヶ根市文化会館	承認	
後援	7-035	ま〜るいレースシクロクロ ストレーニング	ま〜るい自転車協議会	令和7年6月21日(土) ~6月22日(日)	森と水のアウトドア 体験広場	承認	新規
後援	7-036	生誕120年 小林勇展	伊那食品工業 株式会 社	令和7年8月2日(土) ~8月31日(日)	かんてんぱぱガー デン内 西ホール	承認	新規
後援	7-037	第73回かやぶき倶楽 部 石原慎之助マリン パコンサート	かやぶき倶楽部実行委員 会	令和7年7月27日(日)	信州高遠美術館	承認	
後援	7-038	信州の陶芸作家11人展	長野県陶芸作家協会	令和7年7月12日(土) ~7月21日(月)	かんてんぱぱホール	承認	
後援	7-039	第20回駒ヶ根ソフトバレー ボールWINTER交流会(20 回記念大会)	駒ヶ根SVCこまちゃん	令和7年11月30日(日)	社会体育館、赤穂 中学校体育館	承認	
後援	7-040	第6回ピアノ発表会	松原ピアノ教室・久保田 ピアノ教室	令和7年8月17日(日)	赤穂公民館ホール	承認	
後援	7-041	かみとくれんサマース クール2025	上伊那圏域特別支援教 育連携協議会	令和7年7月26日(土)	いなっせ	承認	
後援	7-042	駒ヶ根市立博物館企画展 「戦後80年と登戸研究所の 上伊那への疎開」	駒ヶ根市立博物館	令和7年7月1日(火) ~令和7年8月17日 (日)	駒ヶ根市立博物館 展示室	承認	
後援	7-043	ISC駒ヶ根スイミングクラブ AFAS伊南スイミングクラブ	ISC駒ヶ根スイミングク ラブ	令和7年29日(火)~8 月2日(土)	AFAS伊那スイミ ングクラブ	承認	
後援	7-044	朝日新聞「EduA」新聞 活用講座	(株)朝日新聞社	令和7年8月23日(土)	駒ヶ根市民交流活性 化センター「アルパ」 多目的ホール(3F)	承認	
後援	7-045	SDGs/パーク第4弾! コドモ 未来広場	一般社団法人駒ヶ根青 年会議所	令和7年9月15日(月)	宮田村ふれあい広 場	承認	
後援	7-046	バレーボール体験会	駒ヶ根市バレーボール 協会	令和7年8月3日(日)	駒ヶ根市社会体育 館	承認	新規
後援	7-047	はみんぐ森カフェ	NPO法人子ども・若者サ ポートはみんぐ	令和7年5月27日(木) ~令和8年3月26日 (木)毎週木曜日	駒ヶ根キャンセン ター・FIRESIDE	承認	
後援	7-048	第4回公演「修繕屋ソーク」	ミュージカルサークル 煌(きらめき)	令和8年1月25日 (日)	伊那養護学校 体 育館	承認	新規
共催	7-049	2025キャリアフェスin駒ヶ 根	キャリアフェスin駒ヶ根 実行委員会	令和7年10月30日(木)	赤穂中学校	承認	
後援	7-050	サマーキャンプ	OWL Line&Wall	令和7年8月5日(火) ~8月7日(木)	OWL Line&Wall	承認	
後援	7-051	ベースキャンプ2025	ベース	令和7年7月26日(土) ~8月19日(火)	伊那市真幸近総合グラウン ド、野球塾BASE、伊那西高校 (交渉中)	承認	
後援	7-052	登戸研究所平和資料館会 館記念講演会	登戸研究所調査研究会	令和7年8月17日(日)	駒ヶ根文化会館	承認	

共催 1 件
後援 18 件
協賛 0 件
19 件

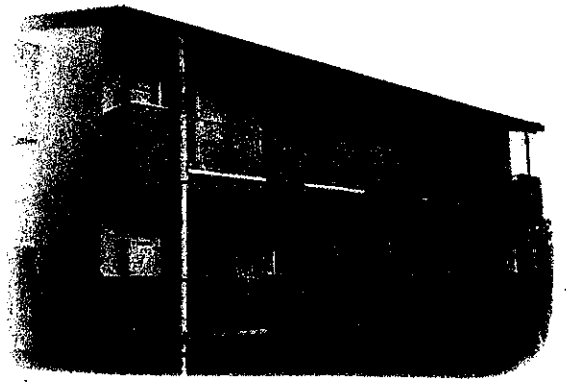
〔うち新規
4 件〕

承認 19 件
不承認 0 件
協議中 0 件
19 件

令和7年6月に
移転します

駒ヶ根市中間教室

一人ひとりに合わせた
学び・体験・つながりで
先を見据えた社会的自立を
支援します。

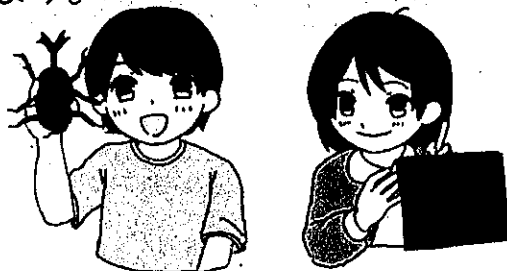


どんな場所？

家の外へ出られない、学校へ行きづらい
などの悩みを持つ小学生や中学生のため
の施設です。

学校・進路のことなど、本人や保護者の
相談に応じます。また学校の他に、必要
な場合には、公的機関との連絡やカウ
ンセラーとの面談も行います。

- ・学校の籍はそのまま、通室した
日は出席扱いになります。
- ・通室方法や時間は本人や保護者と
相談して決めます。
- ・申し込み前に、見学やお試し通室
ができます。



めざす姿

利用する子どもたちが、自分らしく過
すことができる居場所を目指します。
また、本人と友達・保護者・支援員・学
校・関係機関・地域との、さまざまな
「つながり」を大切にします。

中間教室での過ごし方

学習

教科学習・造形学習など、それぞ
れのペースで学習を進めます。
畑や十二天の森など自然を活用し
た屋外での体験活動を行います。

生活

趣味や制作活動、調理、運動な
ど、自分の時間またはみんなの時
間として過ごします。

役割

当番活動や奉仕活動を行います。

駒ヶ根市中間教室

住 所 駒ヶ根市赤穂8778-23 福岡教職員住宅内

開設日 平日 市内小中学校の登校日に基つきます。

開設時間 午前9時～午後3時

問い合わせ 駒ヶ根市教育委員会 0265-83-2111(代表)



令和7年度 駒ヶ根市指定研修 計画案2

1 ねらい

- 講演会を拝聴したり、講師と語り合ったりすることで、探究的な学びや教師の有り様について考え合うことができる。
- 実践や省察を語り合うことを通して、自己の「観」を見返したり更新したりすると共に、明日の授業や自身の有り様を思い描くことができる。

2 日時 令和7年8月1日(金)
9:00~11:50

3 会場 赤穂南小学校
全体会：体育館 ※人数によっては視聴覚室(可能であれば)
分科会：各教室

4 テーマ 「探究的、対話的な学びと、教師のありようについて語り合おう」

5 全体会講師 畔上一康 先生
学校法人長聖 長野短期大学 学長
(前 信州大学 学術研究院教育学系 教授)
(元 信州大学教育学部附属長野小学校 副校長)

演題「

6 参加者 駒ヶ根市内小・中学校職員(県・市常勤職員)

7 内容(日程)

8:45 受付
9:00~ 9:10 開会行事(講師紹介 本多教育長)
9:15~10:15 講演会
10:15~10:40 講師と語り合う会
10:40~10:50 休憩
10:55~11:45 分科会
11:45~11:50 閉会行事(講評：伊藤校長)

8 今後の推進予定

案内・ちらし発送 6月13日(金) 各校及び市教委へ
参加者把握 6月27日(金)までに 各校教頭へ依頼

令和7年度 上伊那市町村教育委員会連絡協議会
総会並びに研修会開催要項

箕輪町教育委員会

- 1 趣 旨 市町村教育委員相互に連絡協調を図り、教育行政に関する諸問題について研修し、地方教育行政の円滑な運営と進展に資し、もって教育の発展向上に寄与する。
- 2 主 催 上伊那市町村教育委員会連絡協議会
- 3 主 管 箕輪町教育委員会
- 4 参加者 上伊那市町村教育委員、教育長及び教育委員会事務局担当者
- 5 期 日 令和7年7月2日(水)
- 6 会 場 箕輪町文化センター (箕輪町中箕輪10291 TEL0265-70-6603)
箕輪町郷土博物館 (箕輪町中箕輪10286-3 TEL0265-79-4860)
みのわパレス (箕輪町中箕輪9503)
みのわBASE (箕輪町中箕輪9499-4 TEL0265-79-3190)

7 日程及び内容

- (1) 受付 13:10~13:30 【箕輪町文化センター ホワイエ】
- (2) 総会 13:30~14:20 【箕輪町文化センター ホール】
- (3) 研修会
 - ① 講演会 14:30~15:30 【箕輪町文化センター ホール】
演題 「個を生かし、幸福な組織を追求する」
講師 ニチノウ食品(株)代表取締役社長(前箕輪町教育委員) 有賀 哲哉 さん
 - ② 研 修 15:40~17:00 (前半15:40~16:15・後半16:25~17:00)
A 「箕輪学かるた」の説明 【箕輪町文化センター ホール】
B 箕輪町郷土博物館見学 【箕輪町郷土博物館】
※ 参加者を2グループに分けて、1班はA→B、2班はB→A
 - ◎ 移動 みのわパレスへ 17:00~17:25
町文化センターからみのわパレスへの移動は各市町村の公用車等をお願いします。
 - 「みのわBASE」は自由見学…早く着いた方がそれぞれでお願いします。
- (4) 情報交換会 17:30~19:00 【みのわパレス】
※ 申し訳ありませんが、会費としてお1人5000円を当日受付でお支払いください。

【伊那松島駅発電車時刻表】

- | | |
|-------------|------------|
| ○ 伊那市、駒ヶ根方面 | ○ 辰野方面 |
| 19:16 駒ヶ根行 | 19:34 岡谷行 |
| 19:48 天竜峡行 | 20:27 岡谷行 |
| 20:17 駒ヶ根行 | 21:09 岡谷行 |
| 21:07 天竜峡行 | 22:21 上諏訪行 |

8 参加申し込み

別紙様式にて、上伊那市町村教育委員会連絡協議会事務局までメールでお申し込みください。
(6月16日(月)までに)